2027. 1

GUIDE BOOK

Fukuchimachi Syafukuren

人と人が

つながって

可能性は

無限大



一般社団法人

福智町社会福祉連携協議会

連携・協働のまちづくり

1 地域公益活動連携協議会から一般社団法人へ

平成28年4月に社会福祉協議会会長が発起人となり、福智町で施設や事業所を経営する社会福祉法人に、連携協議会の設立に関する賛同と参加を呼びかけ、平成28年6月7日「福智町社会福祉法人地域公益活動連携協議会」が発足しました。その後、福智町のすべての社会福祉法人が加入するに至りました。現在、準会員の介護事業を経営する株式会社1社を含め26の法人が一つとなって地域における公益的な取り組みを行うとともに、地域住民の福祉の向上に向けて活動を続けています。また、事務の共同化を図り、26法人町内70施設事業所（町外を含めると88）、職員数1,501人というスケールメリットを生かした取り組みも進めています。さらに令和3年４月1日より「一般社団法人福智町社会福祉連携協議会」として法人化し、さらなる取り組みの連携協働の深化を図っています。





2 社福連会員法人一覧

社福連会員　２６法人（福智町内の社会福祉法人加入率１００％）

社会福祉法人 慶寿会 福智町上野 3175-3　Tel：0947-28-5689　Fax：0947-28-5749	社会福祉法人 久和会 福智町赤池 474-138　Tel：0947-28-6224　Fax：0947-28-6244
社会福祉法人 赤池福祉会 福智町赤池 402-13　Tel：0947-28-2130　Fax：0947-28-2130	社会福祉法人 福智会 福智町弁城 4193-28　Tel：0947-22-1434　Fax：0947-22-1434
社会福祉法人 豊徳会 福智町伊方 638　Tel：947-22-7705　Fax：0947-22-7706	社会福祉法人 福寿会 福智町伊方 2611-1　Tel：0947-22-4933　Fax：0947-22-1959
社会福祉法人 菊陽会 福智町伊方 4448　Tel：0947-22-5177　Fax：0947-22-6680	社会福祉法人 見真会 福智町伊方 4050　Tel：0947-47-3000　Fax：0947-47-3300
社会福祉法人 伊方福祉会 福智町伊方 4227-2　Tel：0947-22-9077　Fax：0947-22-9066	社会福祉法人 サンヒルズふくち会 福智町弁城 3081-1　Tel：0947-22-1414　Fax：0947-22-1881
社会福祉法人 方城福祉会 福智町弁城 4193-15　Tel0947-22-5888　Fax：0947-22-5889	社会福祉法人 レーヴ福岡 ケアハウスひかり 福智町伊方 2450-19　Tel：0947-47-3500　Fax：0947-47-3501
社会福祉法人 宝福祉会 福智町金田 1336-2　Tel：0947-22-4435　Fax：0947-22-4550	社会福祉法人 彦水会 福智町金田 958-6　Tel：0947-22-0435　Fax：0947-22-0706
社会福祉法人 上金田福祉会 福智町金田 273　Tel：0947-22-3653　Fax：0947-22-3825	社会福祉法人 全和会 飯塚市太郎丸一ツ木 499-1　Tel：0948-26-6620　Fax：0948-26-6635
社会福祉法人 筑豊福祉会 第二長寿園 福智町金田 1257-2-1　Tel：0947-22-4080　Fax：0947-22-3643	社会福祉法人 桐和会 福智町神崎 708　Tel：0947-22-5529　Fax：0947-22-6095
社会福祉法人 日王福祉会 福智町神崎 1056-114　Tel：0947-22-0280　Fax：0947-22-7020	社会福祉法人 朝日会 福智町神崎 1533-151　Tel：0947-22-3939　Fax：0947-22-6100
社会福祉法人 青空福祉会 京都郡みやこ町上原 1011-4　Tel：0930-33-5571　Fax：0930-33-5572	社会福祉法人 頓野児童福祉会 直方市頓野 2535-44　Tel：0949-28-1766　Fax：0949-28-1776
社会福祉法人 ぎんなん会 福智町伊方 3958-1　Tel：0947-22-0253　Fax：0947-22-6155	社会福祉法人 福智町社会福祉協議会 福智町金田 1154-2　Tel：0947-22-6631　Fax：0947-22-6678
社会福祉法人　政芳会 福智町伊方 4138　Tel：0947-23-2747　Fax：0947-23-2759	株式会社 武広 福智町弁城2798番地2　Tel：0947-22-1424　Fax：0947-22-1424

第3期 一般社団法人福智町社会福祉連携協議会組織図

理　事　会

会　長　芦馬 謙二（社会福祉法人 豊徳会 理事長）
副会長　吉田 泰子（社会福祉法人 筑豊福祉会第二長寿園 施設長）
理　事　金山 文雄（社会福祉法人 彦水会 理事長）
理　事　嶋野 勝　（社会福祉法人 福智町社会福祉協議会 会長）
理　事　久冨 達也（社会福祉法人 久和会 笑寿の森 副施設長）

監　事　鈴木 篤史（社会福祉法人 伊方福祉会 理事長）
監　事　仲村 信之（社会福祉法人 福寿会 方信園 施設長）

法人後見運営委員会

医　師
生田 幸生
司法書士(委員長)
土肥 良夫
社会福祉士
青柳 英則
学識経験者
芦馬 謙二
行政経験者
立花 寿子

事務局：福智町社会福祉協議会

会員（社員）　26法人

- 社会福祉法人 慶寿会
- 社会福祉法人 赤池福祉会
- 社会福祉法人 豊徳会
- 社会福祉法人 菊陽会
- 社会福祉法人 伊方福祉会
- 社会福祉法人 方城福祉会
- 社会福祉法人 宝福祉会
- 社会福祉法人 上金田福祉会
- 社会福祉法人 桐和会
- 社会福祉法人 日王福祉会
- 社会福祉法人 青空福祉会
- 社会福祉法人 ぎんなん会
- 社会福祉法人 福智町社会福祉協議会
- 社会福祉法人 久和会
- 社会福祉法人 福智会
- 社会福祉法人 福寿会
- 社会福祉法人 見真会
- 社会福祉法人 サンヒルズふくち会
- 社会福祉法人 レーヴ福岡ケアハウスひかり
- 社会福祉法人 彦水会
- 社会福祉法人 全和会金田学園
- 社会福祉法人 筑豊福祉会第二長寿園
- 社会福祉法人 朝日会
- 社会福祉法人 頓野児童福祉会
- 社会福祉法人 政芳会
- 株式会社 武広（準会員）

公益的な取り組みに関するワーキングチーム

社会福祉法人　筑豊福祉会
社会福祉法人　方城福祉会
社会福祉法人　レーヴ福岡
社会福祉法人　上金田福祉会
社会福祉法人　日王福祉会
社会福祉法人　青空福祉会
社会福祉法人　ぎんなん会
社会福祉法人　頓野児童福祉会

事務の共同化に関するワーキングチーム

社会福祉法人　豊徳会
社会福祉法人　伊方福祉会
社会福祉法人　赤池福祉会
社会福祉法人　宝福祉会
社会福祉法人　見真会
社会福祉法人　ｻﾝﾋﾙｽﾞ ふくち会
社会福祉法人　桐和会
社会福祉法人　朝日会

企画・啓発に関するワーキングチーム

社会福祉法人　彦水会
社会福祉法人　久和会
社会福祉法人　福智会
社会福祉法人　菊陽会
社会福祉法人　慶寿会
社会福祉法人　福寿会
社会福祉法人　全和会
社会福祉法人　政芳会

4 会員法人専門職資格一覧

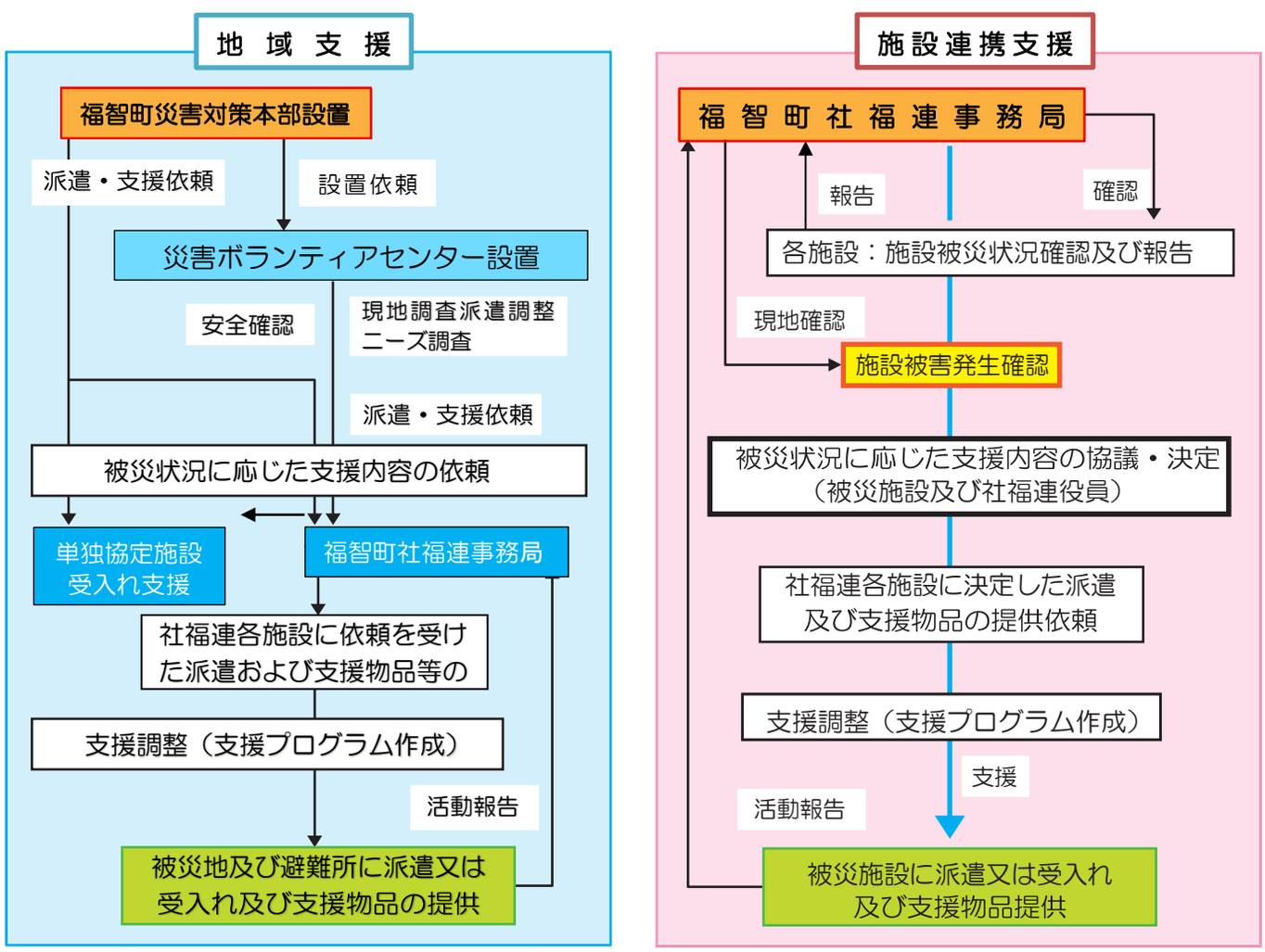
社福連では多くの専門職が働いており、その知識や技術をあらゆる場面で地域において活用できる方策を検討しています。

NO	職種	合計	内訳	
			常勤	非常勤
1	保健師	1	1	0
2	正看護師	50	42	8
3	准看護師	67	51	16
4	社会福祉士	40	39	1
5	精神保健福祉士	12	12	0
6	介護福祉士	347	315	32
7	主任介護支援専門員	7	6	1
8	介護支援専門員	66	63	3
9	管理栄養士	16	16	0
10	栄養士	29	29	0

NO	職種	合計	内訳	
			常勤	非常勤
11	保育士	296	262	34
12	理学療法士	14	11	3
13	作業療法士	4	4	0
14	言語聴覚士	2	1	1
15	臨床心理士	5	4	1
16	防災士	4	4	0
17	歯科衛生士	3	3	0
18	調理師	73	63	10
19	社会福祉主事	66	65	1
20	その他	6	5	1
	専門職合計	1,108	996	112

5 災害時支援連携イメージフローチャート

大規模災害発生



6 公益的な取り組み

① 地域交流活動提供事業

地域に点在する施設において行う行事を地域のつながりの再生の場として捉え、特につながりの薄い孤立者・引きこもり・障がい者(児)・高齢者、及び要支援者と地域住民の交流の場を提供し、あわせて施設や事業所の地域交流の促進を行います。



① 各事業所で開催される行事の１つを地域住民の交流活動の場として開催

② 交流活動行事カレンダー作成と町民への周知

③ 行事を通じて地域住民のつながりの強化へ

②地域に身近な福祉相談窓口連携事業

地域に点在する施設や事業所に地域に身近な相談窓口を設置し、一時相談窓口として生活困窮者や認知症など地域の要支援者の相談又はその要支援者への支援について相談を受けるとともに、ゲートキーパーとしての役割も担います。また、相談内容に応じて他施設や関係機関へつなげ社福連を中心とした相談支援ネットワークの構築を図っていきます。現在 32 の施設・事業所に相談窓口を設置しています。



① 各施設に「地域に身近な福祉相談窓口」を設置する。その対応については各施設の職員により対応する

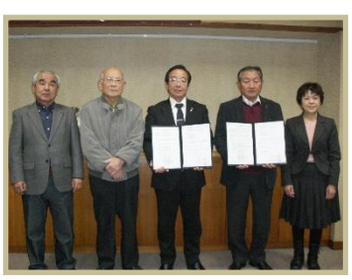
② 相談を受けた内容により、他施設や関係機関につなげる（一時的相談窓口機能）

③ 適切なつなぎがスムーズにできるように、社福連を中心とした相談支援ネットワークを構築する

④ 相談窓口の手引きと社会資源リストの活用

③災害時要援護者等支援事業

最近は大規模災害が所かまわず発生しているのが現状です。福智町でも福智山活断層があり、未曽有の大災害が発生しないとも限りません。福智町に点在する各施設の機能を活かし、安全と認められた地域の施設を福智町と協定を結び、近隣の生活避難所として指定し、避難住民の安全と生活の継続について支援を行います。必要に応じ対応可能な避難所への福祉的支援を行います。



① 災害時に生活避難所として活用する計画を福智町と協定し支援する

② 災害時における地域住民の日常生活が継続できるよう日用品等の提供などを行う

③ 避難が必要であり、介護が必要な要支援者への受入れ等の対応を行う

④地域パトロール推進事業

地域の要支援者の見守りは、地域で行うのが最も有効的ですが、地域によっては見守り活動が成り立たない地域も存在します。そのためアウトリーチによる訪問活動が必要です。各施設で地域を回る業務の中で気づいたことを事務局へ情報提供します。特に要援護高齢者宅や孤立化した世帯、問題のある子育て世帯などに見守りや支援活動を行います。



① 会員がハイリスクの高齢者宅や孤立化した世帯、問題のある子育て世帯などに対して各施設の送迎等で地域を巡回する際に、見守りパトロールを合わせて行う

② 見守りマニュアルに基づき実施するとともに「気づきリスト」を活用し常に見守りのアンテナを張り実施

③ 福智町SOSネットワークとの連携

6 公益的な取り組み

⑤要支援者サポーター養成事業

今、認知症の方や身体障がい者の方また精神障がい者の方などの要支援者が地域において普通に暮らせる社会が求められ、ソーシャルインクルージョンによる取り組みの重要性が叫ばれています。そのためには、地域で要支援者を支える又は理解するサポーターを多く作り出すことが必要です。そのサポーターの養成を地域ごとに進め支援していきます。



- オレンジリング（認知症サポーター）＝2,800名
- ブルーリング（障がい者サポーター）＝26名
- ホワイトリング（子育てサポーター）＝4名

① 地域における要支援者を地域でサポートする体制を作り出すために、それぞれの状況に対応できる（又は理解する）サポーターの養成研修会を実施する

② 一般上映会を開催

⑥子どもの居場所づくり

福智町社福連は子どもの居場所づくりの一環として、子ども食堂の運営等の支援を行い、本来の目的である「孤食を防ぐ」「貧困の子どもたちへの食事の提供」に合わせて、その地域の子どもの不登校をなくすことや、子ども食堂を通じて協働による地域づくりを支援しています。現在、板屋地域食堂・西田川子ども食堂・むかご食堂(支援)を実施しています。



【令和7年度実績】

- 地域ふれあい食堂：3回実施142名参加
- 日王の湯子ども食堂：6回実施215名参加
- むかご食堂：立上げ支援を行い、開催後は物資提供（福岡県）の情報提供を行いました

⑦フードバンク及びフードファミリー事業

フードファミリーとは、食材等を提供していただける地域住民のことで、事前に登録していただき、生活困窮者等の事例が発生した場合にご連絡を差し上げ、提供をしていただいた食材等を即時に生活困窮者等に提供するシステムのことです。フードバンク及びフードファミリーの管理運用は、一般社団法人福智町社会福祉連携協議会と福智町社会福祉協議会が行います。



← 詳しくは社福連HP内のフードファミリーのページをご参照ください

① 個人会員
地域住民でフードファミリーのおこなう活動の趣旨に賛同し、食材等の提供をしていただける個人の方

② 法人会員
地域の企業・商店・施設等においてフードファミリーのおこなう活動の趣旨に賛同し、食材等を提供していただける法人

種　別	フードバンク	フードファミリー
提供いただける食材	保存期間が６ヶ月以上ある食材	保存期間が概ね１週間以上ある食材
食材提供の受付	常時受付	必要時に登録会員にお知らせ
食材等の保管	福智町社会福祉協議会で保管	必要時に登録会員より提供
メリット	在庫がある為迅速に提供できる	1. 提供いただける食材の幅が広がる 2. 必要なものをダイレクトにお願いできる（指定が可能） 3. 食材を保管しなくてよい 4. 提供する側の充実感がある
デメリット	随時出てくる保存切れの食材の対応	食材のチェック

6 公益的な取り組み

⑧法人後見事業

福智町社福連では、今後必要性の高くなる事業として法人後見事業に取り組んでいます。
会員である福智町社会福祉協議会がおこなう日常生活自立支援事業と連携するとともに、
地域住民や福祉関係団体と連携しながら、ご本人を中心としソーシャルサポートネットワークをつくります。
職員がご本人に適した支援方法を考え、福智町社福連会員や福祉関係機関と協力しながら
利用者を支援していきます。

- ご本人を中心とした見守りのネットワークをつくります
- 福智町社福連会員や福祉関係機関と協力しながら支援していきます
- 福智町社福連会員間相互に職員が後見人の支援員となることができます
- 後見実務担当者が交代しても、長期にわたって一貫した本人支援が実現できます



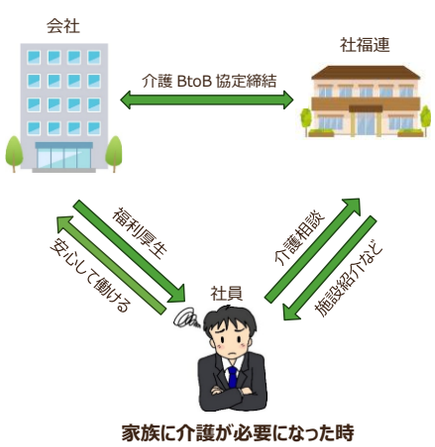
- 後見実務担当：現在18名
- 受任件数：4件
（2026年現在）

複数の後見実務担当者がいるため、
①ご本人に適した担当者を置くことが可能　②バックアップ体制が整っている　③交代が可能　④資格取得者が多く専門性が担保され後見実務者が確保しやすい　⑤組織内で後見実務のチェック体制があり、不正防止等適切な業務が保たれる　⑥後見実務の実績を積み重ねているので組織としてのノウハウが蓄積される

⑨介護ＢｔｏＢ協定事業　～ 企業の介護離職防止と介護施設入所者確保のWIN WIN ～

社員の家族に介護が必要となった場合に備え、会社専用相談窓口を設置することにより、介護と就労の両立支援を推進し、介護を理由とする離職の防止につなげます。
さらに、社福連と介護BtoB協定を締結することで、会社は福利厚生制度の一環として社員へ提供することが可能となります。

①社員への介護に関する相談支援
②社員及び家族への会員施設入所への優先的な紹介
③会員施設の見学会へのご優待（会社企画の場合は送迎いたします）
④社員及び家族の入所までの一貫した相談支援
⑤企業の要望による社員に対しての介護に関する講座



- 企業のメリット→社員の介護離職を防ぐことができます
- 社員のメリット→介護について無料で相談や施設紹介を受けることができます
- 社福連のメリット→多くの方に福智町の施設をご利用いただくことができます

6 公益的な取り組み

⑩不登校生（高校）の就労学習支援事業

不登校には様々な要因があり、そのなかで福祉の仕事に合った不登校生を受け入れ、介護施設など学校と違った環境のなかで就労や学習を行うことにより、高校卒業または卒業程度の高校認定資格取得を支援し、あわせて介護人材の育成と人材確保を行うことを目的とした地域における公益的な取組みです。

◎不登校生のメリット→
- 働きながら社会への適応性を高められる
- 就労契約の場合はいくらかの賃金が得られる
- 高校卒業資格又は高校卒業認定資格を目指して学習する機会を得られる
- 授業単位が得られる（認定された場合）

◎法人のメリット　→
- 地域における公益的な取組として貢献できるとともに内容において注視される
- 人員が不足する業務を補うことができる
- 将来的に経験のある若いマンパワーとして雇用できる



対象者　①不登校対応が必要な生徒で生徒指導教員の推薦する者
②キャリア形成支援プログラムによる就労支援を希望する者
③本人及び保護者の了承が得られる者

受入体制　①各施設において職員の中から就労学習担当職員を置く
②学習室を確保する
③就労メニューを作成し就労する（就労契約の場合、最低賃金以上支給）
④高校認定資格教材等については事務局で準備する

⑪福智ＤＷＡＴ（災害福祉支援チーム）

能登半島地震をはじめ、近年大規模な自然災害が全国各地で頻発しており、福岡県内においても平成２９年から５年連続で豪雨災害等が発生し、甚大な被害をもたらしています。
このような状況の中、福智町社福連では、災害派遣福祉チーム（ＤＷＡＴ）を組織し、災害時に避難所等で発生する様々な福祉ニーズへ対応できるよう備えています。
大規模災害において、要介護者等の避難所での一時的な避難生活には健康リスクを伴います。
そこで、福智町の地域や顔が分かる関係性を生かした福祉専門職による福智町独自の福智ＤＷＡＴを設置しています。
また、県レベルでのDWATとの連携も図っていきます。





◎チーム形成
- チームは登録された異なる専門資格者5名～6名で形成します
- チームの活動は最大5日とし、1日～5日の間で調整します
- 現在、4チーム結成で登録者は22名です

7 事務・事業の共同化と連携協働の強化

①個人情報を含む書類の合同処分及びリサイクル活用の取組み

保存年月の過ぎた個人情報を含む書類の破棄は、比較的手間がかかります。事務作業の手間を省き、個人情報が守られ確実に溶解処理し、また合同で行うことにより１個あたりの処分料金のコストダウンが可能となるとともに、廃棄物のリサイクル（トイレットペーパー）による環境 保全にも貢献する取り組みです。



※令和7年10月実施
- 処分数実績：270箱
- 重量4,190㎏／１箱300円
- トイレットペーパー32,835個相当にリサイクル

②合同人材募集

個別ではなかなか確保することが難しい福祉業界での人材難を解消する方法の一つとして、合同による人材募集を行い、事務の効率化と効果の向上を図ります。第1回目の募集では求人チラシを発行し町内世帯(8,300 世帯)へ全戸配布。第2回目の募集では町内世帯への全戸配布とともに、福智町中心部から半径10キロ県内において大手新聞4社への折り込みやフリーマガジンＨｅｎに求人ページを掲載しました。現在は年4回最新の求人募集を町内全世帯へ配布しています。



詳しくは社福連HP内の人材求人情報のページをご参照ください

③ＩＣＴによる法人連携の推進

26の会員法人の連携強化を図るために、国の補助金を活用しICTを活用した法人間連携を進めています。各法人に専用パソコンを配置するとともに、サイボウズの kintone 及びLINEWORKS、LINE 公式アカウントを活用したシステムを構築し連携が行えるよう、運用訓練を行いながら会員間の情報共有(リモート相談、フードバンク在庫確認、施設利用状況など)やLINEから会員間や住民、生活困窮者への情報提供ができるなどICTを活用して様々な運用を行っています。

④共同購入品目の調査

福智町社福連26法人による共同化によるスケールメリットを生かし、各法人が消費する消耗品や生活用品、食材等を高品質で低価格で共同購入することができるものがあるのか調査をおこない、経費の削減や事務の効率化を図ります。

⑤経費削減に関わる合同電力割引交渉

各法人の経費削減について、電力会社による高圧電力契約施設における割引交渉を行い、「大規模特約割引契約」を実現しました。現在電力会社と高圧電力契約している法人(施設)については割引率を契約施設ごとに電力会社から提示していただきました。低電力契約をしている法人(施設)は今回の割引の対象としていませんが、今後低電圧電力についても割引を検討していただく予定です。社福連全体で年間約1,500万円の経費削減が見込まれました。
しかし現在は、電力供給不足から割引も厳しい状況ですが、節電契約で一時金など新たな提案を受けています。

⑥合同研修会

- 虐待防止研修会
  虐待防止のための福祉職員に求められる役割と対応、虐待の定義について等の講義や個人ワーク・グループワークを行っています。
- 接遇合同研修会
  新入職員・入職5年未満の基本的な接遇マナーやご利用者ご家族に対応するスキルを習得し、職場での円滑なコミュニケーションと良好なサービス提供を実現することを目的として行いました。
- ファンドレイジング
  社会福祉法人の役職員がファンドレイジングについて学習することで、効果的な資金調達活動を行うための基礎知識を習得します。
  地域福祉活動の持続可能性を高めるための自主財源確保の重要性を学びました。



7 事務・事業の共同化と連携協働の強化

⑦外国人介護人材確保基盤整備事業



介護施設・事業所の介護労働者不足は喫緊の課題です。
将来を見通してグローバルな視点から外国人介護人材の活用における安心安全な受入れ体制づくりを進めています。今回、インドネシア バリのＬＰＫカルニアデワタとＬＰＫ ＬＩＮＫの2校と連携協定を締結し、優秀な外国人介護人材確保に向けてルートを構築しました。現地で学習支援を行うとともにＺＯＯＭによる定期的な情報交換が行えるように、2校に専用の端末を配置しました。また、日本の介護に関するテキストを渡して、学習効果を上げる取り組みも行いました。





⑧介護従事者養成

介護従事者の確保はどこの法人・施設も大きな課題です。
人材が定着するためには、育成から行う方が高い定着率である事から、介護職員初任者研修実施機関として県の指定を受け、介護従事者の養成を行っています。
今後さらに介護福祉士の資格を取得できるように実務者研修の実施を検討しています。講師は社福連会員の専門職の方にお願いしています。







8 その他事業

赤い羽根自動販売機設置推進事業

福智町社福連では、会員の施設や事業所また関係する企業そして福智町の協力をいただきながら、赤い羽根自販機の設置を推奨し、赤い羽根自販機による寄附金を活用して、構成会員からの会費とあわせて公益的な取り組みの財源としています。



① 福智町では現在、寄附付き自販機を 26 台設置済み。
② 令和 7年度実績……年間販売数…46,433本
寄附金額… 551,420円

※自販機での寄付額実績全国第 1 位に（福智町第二長寿園）

ふくおかライフレスキュー事業



生活困窮者の命と生活を守る伴走型支援として、「今日明日食べるものがない」「電気・ガス・水道が止められた」「失業した」「虐待やDVを受けている」など、地域で暮らす様々な方からの相談に、各施設に配置されたサポーターが実際に現場に行き、自分の目と耳で確認しながら対応し、各種制度やサービスに繋ぐ等、生活が安定するまでの支援を行います。また、緊急の場合は食材支援やライフラインの復旧等、経済的援助(現物支給)も行います。

地域人材派遣事業（地域出前講座）

社福連会員の中には、専門的知識や技術を持った方や特技を持った方、趣味が高じて博士的な知識や技術を持った方などがおり、その知識や技術を地域の要望に応じて地域住民に還元する事業です。

- バードセラピー　・バス釣り
- メイクアップ　・手編み
- ちんどんハモニカの紙芝居
- アコースティックギター

など



相談窓口の手引きと社会資源リスト作成活用



（左）社会資源リスト
総ページ数 204 ページ
（右）相談窓口の手引き
総ページ数 172 ページ

課題に応じた各種研修会の開催



福智町社福連 HP



9 今後の展望

社会福祉連携推進法人への転換は？

現在の人口減少・少子高齢化・福祉人材不足という社会環境では、一つの法人だけでは対応できず、法人と法人が連携・協働する「組織同士をつなぐ機能」の重要性は今後さらに高まります。福智町社会福祉連携協議会は、**多様な主体を結び付ける中間支援組織**として、今後ますますその活動を強めてまいります。その実現には、①継続的な成果の見える化、②安定した財源と事務局機能の整備、③医療・介護・福祉・企業・教育機関を巻き込むネットワーク形成、④DXを活用した情報共有基盤の構築、⑤行政等との適切な役割分担が重要になります。社会福祉連携推進法人への転換は、法改正での状況や地域における取組みのしやすさなど今後、福智町社福連が地域に根差した活動を展開することや会員間のメリットを検討したうえで、社会福祉連携推進法人への転換が必要であると判断された時点において進めてまいります。

連携・協働による未来のまちづくり

福智町社会福祉連携協議会は、地域の福祉資源を結び付けるネットワーク組織から、**地域福祉を支える中核的なプラットフォーム**への発展目指しています。具体的には、社会福祉連携推進法人への発展可能性を視野に入れつつ、人材支援センター、福祉DX推進、災害福祉、政策研究、人材育成、広域連携などの機能を段階的に整備することで、福智町のみならず近隣地域全体の福祉を支える組織へ成長できればと考えています。こうした方向性は、人口減少や福祉人材不足への対応、地域共生社会の実現という国や県の政策とも整合し、地域の実情に応じて優先順位を付けながら進めることで、持続可能な地域福祉のモデル形成につなげてまいります。これからは、地域における公益的な取り組みを中心に事務の共同化や会員間の情報共有を進め、地域の活動の支援と共に会員自らの成長を促し、地域や関係団体と共に発展していく組織づくりを進めてまいります。

福智町社福連　検索

https://www.fukuchimachisyafukuren.com/



一般社団法人 福智町社会福祉連携協議会

つながる！
福智町社福連
―連携・協働のまちづくり―

〒８２２-１２０１
福岡県田川郡福智町金田１１５４-２
【事務局:福智町社会福祉協議会 総務課】
ＴＥＬ：０９４７-２２-６６３１
ＦＡＸ：０９４７-２２-６６７８
メール：fukutimatiskk@diary.ocn.ne.jp